

# 「技能と技術」誌 執筆要領

## － 執筆にあたってのお願い －

### 1. 編集方針

「技能と技術」誌は、以下の編集方針によって編集がなされておりますので、方針にそって執筆下さいますようお願い申し上げます。

- (1) 職業能力開発施設における教育訓練の実践事例をとりあげ、今日的課題についての関心を高め、現場の参考に資すること。
- (2) 諸外国の職業能力開発事情に関する情報を提供すること。
- (3) 社会的要請に即応したテーマを特集し、啓蒙的役割を果たすこと。
- (4) 伝統技能及び熟練技能を紹介し、技能尊重の機運の醸成に資すること。
- (5) 公共職業能力開発施設の社会的役割の明確化に役立つような研究、または実践事例をとりあげ、施設の活性化に資すること。
- (6) 企業の職業能力開発に関する事例をとりあげ、業務の参考に資すること。

### 2. 投稿原稿の種類

投稿原稿は、編集に際して以下のように分類しています。

- (1) 実践報告  
各訓練施設における各種訓練コース開発、カリキュラム開発、訓練方法、指導法、評価法等の実践の報告
- (2) 調査報告・研究報告  
社会情勢や動向を調査・研究し、能力開発業務に関わる部分の考察をした報告
- (3) 技術情報  
技術的に新しい内容で訓練の実施に有用な情報
- (4) 技術解説  
各種訓練の応用に活かすための基礎的な技術を解説
- (5) 教材開発・教材情報  
各訓練コースで使用される教材開発の報告、教材に関する情報
- (6) 企業の訓練  
企業の教育訓練理念、体系、訓練内容、教材、訓練実践を紹介
- (7) 実験ノート・研究ノート  
各種の試験・実験・研究等で訓練に有用な報告、研究資料
- (8) 海外情報・海外技術協力  
諸外国の一般情報、海外訓練施設での訓練実践、教材等の情報
- (9) ずいそう・雑感・声・短信・体験記  
紀行文、所感、随筆、施設状況等各種
- (10) 伝統工芸  
伝統工芸を伝承するための技能や人物を紹介

### 3. 原稿の取り扱いについて

- (1) 投稿いただき、掲載いたしました原稿の著作権は職業能力開発総合大学校基盤整備センターに帰属するものといたします。
- (2) 掲載することになりました原稿は、職業能力開発総合大学校基盤整備センターがインターネット上において管理、運営している「職業能力開発ステーションサポートシステム」において公開いたします。

### 4. 原稿の書き方

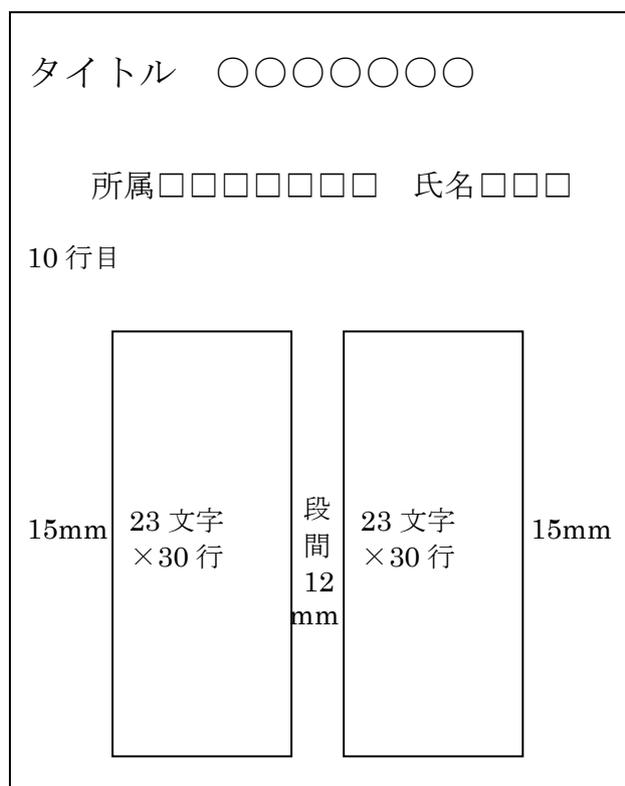
- (1) 原稿は、デジタルデータでお願いいたします。
  - A4判、縦置き、横書き、23文字（全角）×40行×2段組

- デジタルデータの形式は問いません。
- (2) 見出しの書き方
  - 章、節、項等は、以下のような順で記入して下さい。
    1. ○○○○○ (章)
      - 1.1 ○○○○○ (節)
  - 見出しの 1. はじめに、2. ○○○○について、3. ○○○○、.....、6. おわりに 等は、上下を1行ずつ空けて下さい。
- (3) 図、表、写真等は本文の原稿に入れて完成原稿として提出してください。
- (4) 引用文献は本文末尾にまとめて記入して下さい。
- (5) 掲載のイメージ

デジタルデータによる仕上がりイメージ

A4判 縦置き 横書き ページ数付 2段組 1行文字数 半角92文字  
1段文字数半角46文字 1ページ40行

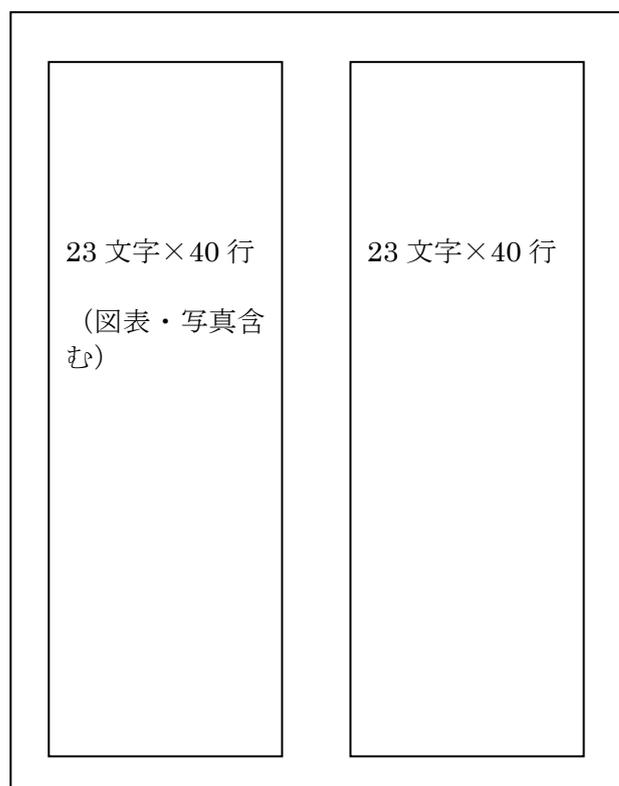
1ページ目 上端余白25mm



下端余白20mm

用紙外枠

2ページ目 (以下同様)



### 5. 仕上がりページ数

- (1) 一般の投稿原稿は、原則として仕上がりページ数(掲載ページ数)4~8ページでお願いします。内容によっては8ページ以上でも差し支えありませんが、2回以上に分けて掲載する場合があります。
- (2) 仕上がり1ページは、1840文字(23文字(全角)×40行×2段組)です。
- (3) 初ページは、タイトル、執筆者名等で約460文字分(23文字(全角)×10行×2段組)となります。
- (4) 仕上がり4ページの場合は、文字のみの場合、文字総数は約6900に相当します。  
(1840×4-460=6900 所定原稿用紙でタイトル部を含め16枚)
- (5) 写真は、サービスサイズ大で1枚が、23文字×10行に相当します。
- (6) 図、表の大きさに指定がある場合はその旨注記してください。指定がない場合は、大きさによって適当に拡大・縮小されます。